

中学校の数学科の先生方へ



今年の高校入試はこんな問題でした！

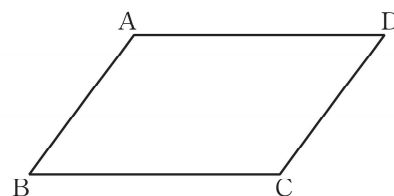
合格者の数学の平均点は、50.5点

☆正答率^(※)が高かったのは、小問集合の各問題、大問2や大問4の基礎的・基本的な知識や技能に関する問題です。指数や文字を含む式の計算については、定着が図られています！



特徴的な問題を見てみましょう！

- 1 (8) 右の図のような平行四辺形 ABCD の紙がある。頂点 B が頂点 D に重なるように折ったときにできる折り目の線は、どのような線になるか、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。



- ア $\angle BAD$ の二等分線
イ 対角線 AC
ウ 対角線 BD の垂直二等分線
エ 2つの対角線 AC, BD の交点をとおり、辺 BC に垂直な直線

<標準解答> ウ

<ねらい>

この問題は、全国学力・学習状況調査においてもしばしば見られるものであり、作図の意味と垂直二等分線との関係が理解できているかを問う問題でした。

<分析>

正答率は53.2%でした。課題としては、作図の過程において、自分の言葉で説明することを通して、論理的に考察することなどが考えられます。

<提案>

授業では、作業となりがちな作図ではありますが、「なぜその作図をするのか」、「なぜその作図でなければならないのか」など、作図の意味や意図を考えさせるなどの工夫が必要です。



「分かる！・できる！」まで教えよう！（授業改善のkeyword）
各問いの出題内容・ねらい及び正答率は裏面をご覧ください！
詳しい分析は、報告書や県教育研修センターのHPをご覧ください！

(※)正答率については、合格者4,678人の中から、無作為に抽出した630人(13.5%)分のデータです。